

核兵器廃絶・放射能被害根絶・原子力空母いらない！

神奈川県原水協通信

発行：原水爆禁止神奈川県協議会
横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A
Tel 045 (231) 6284 Fax 045 (261) 6577
Mail- kana-gensuikyo@gol.com
発行日：2019.9.30 No. 1 8 1

核兵器禁止条約 発効へ着実に前進

署名79カ国・批准32カ国に

発効へあと18ヶ国
核兵器廃絶国際デーの9月26日、国連本部で、核兵器禁止条約の新たな署名・批准書提出式が行われ、9ヶ国が署名、5ヶ国が批准書を提出しました。これで署名国が79カ国、批准が32カ国になりました。このペースは、他の大量破壊兵器関連の条約と比べても速いペースです。

さらにこのペースを加速させ、禁止条約を早期に発効させるために求められているのが「ヒバクシャ国際署名」を大きく広げることです。

日本政府の禁止条約への参加もいよいよ重要になっていきます。署名・自治体の意見書採択などを飛躍させ、2020年NPT再検討会議までの発効を目指しましょう。

核兵器廃絶国際デー、県内各地で行動展開



丸山進会長



新婦人田中さん



署名に応える市民



9月26日の核兵器廃絶国際デー・桜木町アクションを桜木町駅前広場で元気に行いました。このアクションには、県原爆被災者の会、県生協連、県原水協から被爆者14人をはじめ80人が参加し、ヒバクシャ国際署名が242筆の寄せられました。訴えトークでは、県原爆被災者の丸山進会長、中村雄子前会長など5人が訴えました。県生協連の當具伸一会長理事、新日本婦人の会県本部田中由美子会長、県原水協笠木隆事務局長なども訴えました。被爆者のみなさんは、スタンディング写真パネル展示を行い、熱心に見る人もいました。神奈川県うたごえ協議会から7人参加し、歌と演奏でアクションを盛り上げてくれました。海外の人、高校生も署名してくれました。



署名の先頭に立つ県生協連の當具伸一会長



スタンディング原爆展



うたごえ協議会